

鶏冠山～木賊山山行報告

(山城) 奥秩父
(コース) 西沢溪谷入口～鶏冠山～木賊山
(日時・天候) H28年6月3日(金) 晴れ 4日(土) 晴れ後曇り
(参加者) CL 鈴木憲二 鈴木愛子(記録)
(山行タイム)

6/3(金) 千葉 10:30 ⇒道の駅みとみ 17:00 着(車中泊)

6/4(土) 道の駅みとみ 4:10 ⇒西沢溪谷入口駐車場 4:30 発→西沢山荘→二股吊り橋→東沢渡渉地点
5:10→チンネのコル 7:30→第1岩峰→第2岩峰→「第3岩峰迂回路」の道標地点 8:45→
「山梨100名山鶏冠山山頂」の道標地点 9:00→本当の鶏冠山山頂 9:40→2177のピーク 11:00
→木賊山山頂 13:00→戸渡尾根入口→徳ちゃん新道分岐 14:20→ヌク沢渡渉点→西沢溪谷入口
駐車場 16:30 着→日帰り温泉→道の駅みとみで仮眠→帰葉 23:00 頃

(山行報告)

6/3(金)

千葉を 10:30 出発。登山口近くの道の駅みとみに 17:00 着。

明日は、体力、気力、技術力を沢山要求される難ルートなので、睡眠時間がきちんと取れる様に、千葉を出発した。20:00 就寝。

6/4(日)

朝 3:30 起床。朝食を済ませ、車を西沢溪谷入口の駐車場に移動する。駐車場を 4:30 出発。

西沢溪谷への道を歩く。西沢山荘(廃業)を過ぎ、しばらく歩き、二股吊り橋に着く。

吊り橋から眺めた鶏冠山の岩尾根の稜線は、ニワトリのときかの様な岩が切り立っていて格好が良い。

「よし、頑張るぞ」と意欲がわく。



吊り橋から眺めた鶏冠山



ヤマツツジ



岩場のイワカガミ

吊り橋を渡って少し登ると、道標あり。左への道は西沢溪谷への道。右は鶏冠山への入口。道標に従い、右への道を取り、東沢に向かう。鶏冠沢の合流部で東沢を徒渉する。徒渉地点と向こう岸と両方に赤テープがあり、分かりやすかった。

ネットの情報では、登山靴を脱いで素足で渡渉した人が多かった。私達は沢用ソックスで徒渉しようと持参したが、水量が少なく、飛び石で渡渉することができ、良かった。

鶏冠沢の右岸を少し入った所に「鶏冠山登山口」書かれた青い道標があった。道標に導かれ、左の山道を登る。バリエーションルートだが、道ははっきりしていて、普通の登山道の様である。赤テープもよく出てきて分かりやすい。急坂できつい。山ツツジのオレンジ色がとても綺麗で励まされた。

何か所か固定ロープがはってあり、それに助けられたりして、さらに歩を進めると、「チンネの科尔」と書かれた道標の所に着いた。ここから先は厳しい岩場続きの尾根であった。

第1岩峰も第2岩峰も鎖やロープが固定されていた。第1岩峰を登る時、3点確保をしようとしても、左手を確保しようとするホールドが届かない所があった。その時は、夫が120cmのシュリングを上からおろしてくれ、それにつかまってよじ登った。第2岩峰の方がとても厳しかった。両方の岩峰とも鎖やロープに助けられ、持参のロープは出さなくても、しっかり三点確保を取ることと、シュリングのお助けロープで登ること降りることが出来た。第2岩峰のピークに着いた時の360度の眺めは素晴らしい。富士山、黒金山、国師ヶ岳等々が見えた。厳しい岩場を乗り越えた時のほっとした気持ち、喜びはひとしおであった。

第2岩峰から科尔へのクライミングダウンが急で、お助けロープを使用した。

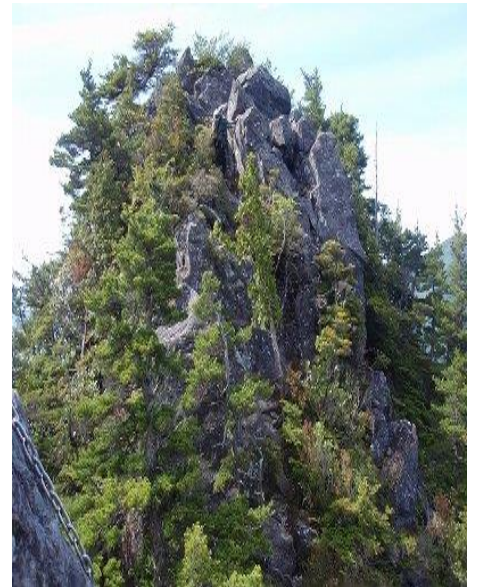
所々に咲いていたイワカガミにも励まされた。とても可憐で可愛かった。



チンネの科尔前のロープ



木賊山にて



第1岩峰からの第2岩峰

第3岩峰の基部に着くと、「第3岩峰迂回路」の道標があった。ここは、渡辺3ちゃんの助言通り迂回路を進む。さらに歩を進め、「山梨100名山 鶏冠山山頂」と書かれた木柱が立っている所に9時到着。第3岩峰のピークが鶏冠山の山頂なのだそう。三角点はない。ここからの眺めも良かった。木賊山と甲武信岳が見えた。

先客が1人いて、その人に二人並んでの記念写真を撮ってもらおう。ところが、帰宅してから写真を確認すると、二人の姿、木柱も写っていない。がっかり。一番ほしかった写真なのに…。何故かというところ、そこは本当の鶏冠山のピーク（第3岩峰のピーク）ではないのだそう。本当のピークには標識も三角点もなかったので、「山梨100名山 鶏冠山山頂」と文字の入っている写真がほしかった。

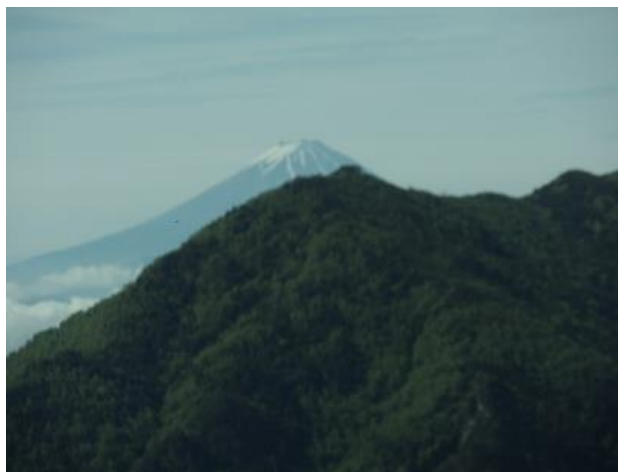
次の山行からは、撮ってもらった時は、その場で必ず確認しようと思った。

「山梨100名山 鶏冠山山頂」から40分後に本当のピークに着いた。そしてそこから木賊山まではずーっと、シャクナゲとコメツガ等の灌木と倒木のヤブ漕ぎが多かった。私の顔や胸までのヤブはきつかった。

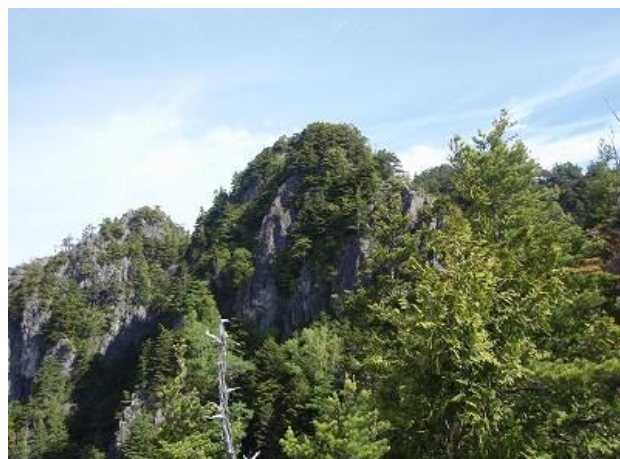
せめてもの慰めは、ずーっと満開のシャクナゲの花がきれいに咲いていたことだった。「修行、修行、槍穂高に行く為のトレーニング、トレーニング」と思いながら歩いた。

木賊山へ向かうコースになってからは、滅多に赤テープを見なくなり、赤テープと赤テープの間隔が長くなり、2度、迷った所があり、GPSで確認して戻ったりした。

そして木賊山着 12:55。針葉樹におおわれ、展望はなかった。ここまで来るのに、ずいぶん時間もかかってしまったし、私も夫も疲れていたので、甲武信岳には3回登ったことがあるし、甲武信岳には行かないことにする。三角点にタッチして記念写真を撮り、下山を始める。



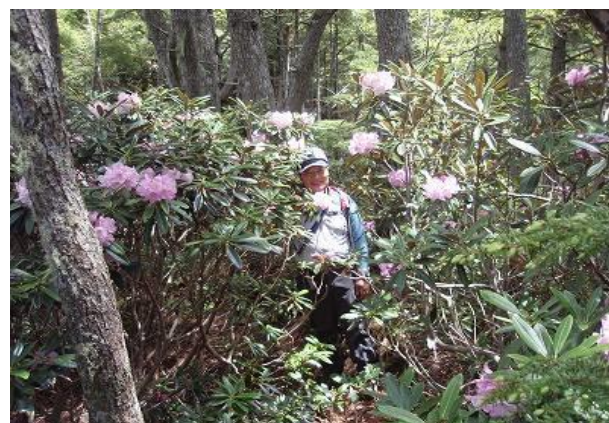
第2岩峰からの富士山



第2岩峰からの第3岩峰



第3岩峰の基部にて（迂回路の道標の所）



木賊山へのヤブ漕ぎの時

木賊山の頂上からは一般の登山道となり、らくちんに歩け、ほっとする。

戸渡り尾根を下る。今日は土曜日なので、沢山の登ってくる登山者とすれ違った。それまでは、出会った人は4パーティ5人だけであったのに…。えらい違いである。

戸渡り尾根もシャクナゲ、山ツツジが満開で綺麗であった。徳ちゃん新道の分岐で近丸新道を取る。ヌク沢渡渉点でも飛び石で徒渉することが出来良かった。そして、西沢溪谷入口の駐車場に着いたのが16時半であった。全部で3回迷った所があり、その都度、GPSで確認しながら歩いたからか、甲武信岳には行く事を止めたのに、12時間もかかってしまった。

この山行の数日前、家の柱で、ロープのエイトノットの結び方、反マストの確保や懸垂、スリング簡易

ハーネスの作り方を、夫に何度も教わり練習して山行に臨んだ。持参したロープでそういうことをする
機会はなかったが、シュリングをお助けマンとして使うことはあった。

疲れたが、バリエーションルート of 難しい山を登ることが出来た嬉しさ、充実感があり、心地よい疲れ
であった。

山行管理の皆様、色々ご心配、助言をを頂き、有難うございました。